



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第27号
イラスト © あべまりあ

発行所
天使のほほえみ
発行人 鎌田久子
編集人 野田滋美

明けましておめでとーございませす

世界遺産登録相次ぐ

理事長 鎌田久子

皆さま、使命遂行の希望に燃えて新春をお過ごしのことと、心より感嘆書き申し上げます。

嬉しいことに昨年は、富士山と和食(伝統料理)が世界遺産に登録されました。

また日本は、世界の祭典一平成31年に開催されるオリンピック・パラリンピックへの招致に成功。世界からの多くの参加者に、『日本なるもの』を存分に満喫して戴く、絶好の機会に恵まれました。

元旦を迎えようと、いつも思い出す俳句があります。

元日や 一系の天子 不二の山

内藤鳴雪

霊峰富士は世界遺産に登録されました。

しかし神武天皇が即位されてから、皇紀二阡六百七十四年にわたって「万世一系」の皇統が保たれてきた奇跡の国日本は、範疇外なのではないか？

今年いただいたお賀状で、皇紀を印された方は、三人だけでした。

「日本の世界一」は枚挙にいとまがありません。

「日本が世界一と思われる所為」

は—

(一) お伊勢さんと呼ばれる伊勢神宮は、広大な御神域に、日本人の祖先につながる天照大御神をお祭りする内宮と、豊受大神(産業の神)をお祭する外宮と、別宮・摂社・末社を合わせて百二十五社が現存しています。

(二) 初代の神武天皇から昭和天皇に至る百二十四代の歴代天皇の陵も現存しています。

(三) 同一国家・同一民族・同一言語の核を保ちつつ、生成化育、発展を遂げつつある日本。

(四) 神武建国の理念は、『八紘一宇 全人類が一族のように仲睦まじく栄えていこう』という理想を謳い上げたもの。まさに大東亜戦争は、白人支配の桎梏から有色人種を解放独立に導いた聖戦だったのである。

(五) 古事記には、天津神の「この国を修理固成せよ」との詔を受け、伊邪那岐・伊邪那美の神が天の貫矛で塩コオロコオロコにかき混ぜできた自転島の上に大八洲(日本)が生

まれたとあります。太陽神(天照大神)の元に生まれた日本民族は、神から生まれた民族であり、世界平和の源になる国家です。まさに古事記は世界遺産以上の宇宙遺産であると思います。



平成25年11月23日

524日

一泊研修会のご報告

代々木にて一泊研修会を開催しました。概要のご報告を致します。

日時 11月23日(土) 13:00

524日(日) 12:00

場所 代々木

国立オリンピック記念

青少年総合センター

カルチャー棟 工芸室

講師 田下昌明先生

旭川 豊岡中央病院会長

鎌田久子理事長

テーマ 「生命の神秘」

一国のいのち 人の生命

今回は、北海道旭川市で小児科医療しておられる田下昌明先生をお招きして、日本人の子育てにつき、胎児、乳幼児、幼児、子供・青年期、それぞれに細詳丁寧に教えて頂きました。

鎌田理事長からは日本の生命を中心に、講話頂きました。夜の交流会、懇親会では参加の方々から、これからの生命尊重運動、日本の再生、反日活動の実態等で熱心に発言があり、大変盛り上がりしました。

翌朝は6時から国旗斉唱、皇居遙拝をし、早朝の明治神宮参拝、御製奉唱・「明治節」斉唱を行いました。心身凛然。

24日も講話、体験談で充実した内容となりました。最後に「若人の歌」「万歳三唱」で閉会しました。充実した研修会でした。

お友達をお誘い下さい

年会費 個人 正会員 2千円以上
賛助会員 5千円以上
篤志会員 1万円以上
法人 一口 5千円以上

郵便振替口座
00100-6-316987
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

平成二十五年度総会 記念講演会

明星大学教授 高橋史朗 先生

文責 野田滋美

「日本を取り戻す」

(下)

— 未来への架け橋、教育再生を —

(前号より続く)

教育の責任は親にあるのか、

社会にあるのか

そして、憲法草案第4章の中で「健全な家庭を築くよう務めなければならない」という文言と、「自立と共助」という文言が入っています。

これはどういう事かと言つと、私がPTA全国大会で、教育の責任は親にある」と言つとブーイングが起きます。第一次安倍政権の時、少子化対策重点戦略会議の委員をしていましたが、「教育の第一義的責任は親にある」と言つと、批判が出ました。なぜ批判が出るかと言つと、「育児と介護は社会の責任だというのが時代の流れだ」と言う訳です。

PTA全国大会の講演の時、「教育の責任は親にある」と言いましたが、その後官僚が「育児と介護の責任は社会にある」と言いました。それを聞いていた親たちが「どつちだ」と質問しました。もつともな事です。

私は「親にあるのか、社会にあるのかという、二者択一ではありません」と言いました。

日本は常に三本柱で考えてきました。家庭教育、学校教育、社会教育。まず自助努力の家庭教育、育児と介護もまたしかりです。でも、育児と介護を家庭だけで担いきれないという現実もありますから、地域の絆でサポートする、これが共助です。

地域でも支えきれない時は学校又は地方公共団体さらには国が支える、これが公助です。

自助から共助、公助へと進んで行く、これを大平元総理は日本型福祉社会と言いました。

日本の教育は根が枯れている

親学推進議員連盟を作つて国会議員の先生に言つてきた事は、

「日本の教育は根が枯れて幹が腐りかかっています。対症療法では間に合いません。例えば『いじめ』について、いじめ防止対策基本法を作る必要があると申

上げました。でもそれは、起きた問題に対して法律で裁くという、これは対症療法です。もつと大事な事は予防です。

イジメが起きない様にするために、政治は未来への投資をしなければなりません。民主党の様に事業仕分けで教育予算を考へてはいけません。事業仕分けを見ていたら、「伝統文化子供教育」の予算が削減されました。藤原和博という有名な方が出てきて仕分け人でした。「伝統文化を子供達が体験して、どういう効果があるんですか。」と、民主党は費用対効果という発想ですから。



子供が伝統文化を体験してすぐには効果は表われません。教育は国家百年の大計だから、5年後、10年後に砂漠に水がしみ入るように、だんだんと効果が出てくるんです。教育予算を考へる時に費用対効果で、伝統文化を教えたら1年後にこれだけの効果があらわれる、という様な基準で考へてはいけません。

根を大事にしつかり張つて、幹が豊かになって、そうすれば必ずからすばらしい葉が生えてくる。枝が生えてくる。という訳ですから一番大事なのは、家庭教育、乳幼児教育、まずこれが根であり、幹であるのです。

日本を再生しようとするならば、日本を取り戻そうとするならば、根であり幹である家庭教育に全面的に力を入れないといけません。」と申し上げました。

対症療法ですぐ法律を作るのは大事ですが、もつと大事な事は予防です。議員さん達は予防にはあまりピンと来ませんでした。

イジメの原因と根本的解決方法

いじめの原因は、相手の痛みが分からないという共感性の欠如と、カァーとなつたら自分を抑えられないという自己制御能力の欠如の2つが大きな要因です。ところが、共感性とか自分を律するというのは3歳までに発達するもので、臨界期があると脳科学者は言っています。

共感性、恥、罪悪感が育ってくるのは2才の終りだというのがハーバード大学のカガンという学者の学説です。そして善悪の意識を獲得するのは3才の始めだと言っています。UCLAの共同研究の

発表では、「切れる、切れない」という自己制御能力の中枢にあるのは眼下前頭皮質であり、人間性、知能(HQ)の臨界期は3才までだと言っています。

つまり、3才までに親がどう関わるかが大事な事です。それがなくて、小学校で「いじめは人間として赦されなんだ」と教えてもちよつと手遅れなんです。まったく手遅れとは言いませんが、大事な事は人間の脳の発達曲線はこうなっているのです。この最も脳の細胞が発達する3才までに、どう親が関わるかが最も大事な事です。そこに未来への投資として予算を付けるべきなのです。

ですから、埼玉県では、まず家庭で道徳の教育をやりましょうと言つので、「家庭用埼玉の国の道徳」というのを6000万円の予算でやつた。



最近の若い女性の

赤ちゃんに対する実例

若い母親が来て、子供は私の声よりスマホの鬼の声の方が効くんです、と言いました。起きなかつたりすると、スマホに鬼の顔が出てきて「ワォー」と叱るんです。寝かけまでこういうものに頼っている時代になって来たんです。

おギャーと生まれた子がまだ臍の緒が付いている段階で、母親が携帯でメールしている事実があった。助産師さんが「まず、おっぱいを子供にあげなさい」と言ったらムツとされたと言っていました。

又、3ヶ月の赤ちゃんのいるお母さんに「タバコはおっぱいに悪いよ」と言ったら、「ならおっぱいやめる」と言った。

こういう事が聞えてきたんです。なぜ親学を始めたかと言うと、親が親として成長し発達する事に問題が生じているからです。

学級崩壊

14年前からその声が顕著に出てきました。それは学級崩壊という現象として登場しました。学級崩壊はどのようなふう

起きたか、学級崩壊の背景にあるのは子供の変化です。対人関係能力が育たなくなつた。未発達になつた。その原因は親子共に母と子の一体感が育っていないために共感性が育っていない。

マリー・ウインは「子供時代を失つた子供達」という本の中で、「もはや家庭は避難所でも、若でもなくなつてきている。子供のために犠牲になる親はいなくなつた。」これは米国で虐待が増えた背景について述べたものです。

米国でなぜ虐待が増えたか。それは、本来家庭は心の居場所であり、若であるんです。でもそういう場所ではなくなつてしまつた。いじめが有つても、お母さんに抱き付いてワーと泣いたら、そこから又頑張れた。でも、どんどんそういう家庭ではなくなつてしまつていたからです。

あるいは、ギャルママ協会というのがあります。5000人位の団体で、幹部と対談しました。だいたい10代で結婚して、今は離婚して一人にいるという人達です。「親から愛された事があります。だからどう愛して良いかわからないんです。親から誉められた事はありません。だ

からどう誉めていいかわからないんです。」

スポーツ博士の育児書」の弊害

つまり、子育ては今までお爺ちゃんお婆ちゃんから自然に受け継がれて来たが、その子育ての智慧が断絶してしまつていて。その大きな理由の一つが「スポーツ博士の育児書」が高度成長以降、日本全体に広がつて行つたのが原因です。

スポーツ博士の育児法は、赤ちゃんは自立させる様に育てる事、母親から赤ちゃんを引き離して

母親が子供の犠牲にならない様にする事、泣いても時間がくるまで放つておく事などを推奨して合理的・科学的育児法と銘打つて社会を風靡したのですが、子供との触れあいを断ち切る方法のため、その結果、その育児法で育つた赤ん坊の多くは情愛が欠如して、情緒不安定症の人間が増えてしまひ、20年経つと、そういう人が社会に出てきて会社経営がやりにくくなつたという様な、不成績な結果が出現しました。



日本の厚生省はその「スポーツ博士の育児書」を昭和55年から採用し、母子手帳にも導入して全国に普及させて行つた。日本の子育ての中に西洋的、合理的な育児法が入つてきた。伝統的な育児法がどんどん失われて行つた。まさに、日本は戦後義眼をはめ込まれたと言いましたが、日本人の伝統的な子育ては断絶してしまつた。

そういう中で子育ての伝統を誤解されて、さまざま批判が始まつています。

教育再生の課題

次に、教育再生の課題へ移ります。

今、日本の教育は根が枯れて幹が腐りかけていますので、何が必要かと言いますと、教育の三本柱、①家庭教育、②学校教育、③地域社会教育、これを取り戻す必要があります。

渡辺京二氏著の「逝きし世の面影」を是非読んで頂きたい。これは第10章が「子供の樂園」となつています。江戸末期に日本にやつて来た100人を超える外国人が、日本の子供達の素晴らしさを書いていきます。「日本の子供達はお年寄りを大事にしている。そして礼儀正しい。笑顔が溢れて

いて、無邪気な表情が大人達を天国に導く」と。大人が子供を天国に導くんじやないんです。

ルース・ベネディクトを始め太平洋問題調査会は、日本の伝統的な子育ては、厳しい罰や躾けで子供達に不安感や恐怖感を与えてきたと言つていますが、そうではありません。この「逝きし世の面影」を見れば分ります。「日本の子供達が笑顔で溢れていた。癩癩を起しているお母さんを見た事がなかった。」と書いてあります。日本の江戸時代の子供達が実に愛情豊かな中で育つてきたからです。お父さんがしつかり抱いている場面も沢山出てきます。



或いは、そのころ流行つていたのは「江戸仕草」。「学習」の意味は何か。「字」は「学ぶ」、「学ぶ」は「真似ぶ」から来ています。「真似ぶ」は誰の真似をするかと言つと「親」の真似をする事です。

「習」の意味は繰り返し繰り返し、馴れる事です。森信三と

いう人は日本の躰けの三原則は「挨拶」「返事」「整理整頓」だと仰いました。まず基本的な生活習慣「お早うございます」をまず親が率先垂範して、子供がそれを真似る。返事をする。今は挨拶や返事をしない子供が沢山いますが、江戸時代ではそういう事をまず型から入っていった訳です。

日本の文化はまず型から入る。「守破離」という言葉があります。守って「破って」離れる」です。千利休の言葉に「規矩(きく)作法守りつくして破る」とも 離るとても本(もと)を忘るな」と言いましたが、そういう基本の形を身に付けさせるのは親の役目なんです。親の責任です。それを家庭でやらなければならぬのに、それが出来ていない。

家庭で芽が出ないと学校で花を咲かせようがないんです。これが今起っている問題です。

新型学級崩壊

新型学級崩壊が広がっています。今、東京でも、埼玉でも一割を越えています。学級崩壊は15年前に起きましたが、私語や立ち歩きで授業が成立しない状態を学級崩壊と言っています

が、そこに軽度発達障害の問題、モンスター・ペアレントなど文句を言ってくる親達の増加によって、新しい事態が起きています。そういう中で、先生がノイローゼになったり、辞めていったり、戦後に戦争はなかったが、教育現場は戦場と化しています。そういう中で、どう日本の教育を再生していけば良いのか。

それは「芽」が出なければ「花」は咲かせようがないのだから、まずは家庭教育から、乳幼児教育から再生しないと、日本の再生は無いです。その事をしっかりと肝に銘じなければ、日本を取り戻すことはできません。私はそう確信しております。

少子化の一番の原因

私は政府の少子化対策の重点戦略検討会議の委員をしました。が、少子化の一番の原因は結婚観とか、子育て観とか、そういうところにあるんです。「結婚は大変だ」、「子育ては大変だ」、「独身の方が気楽だ」という考え方が蔓延しつつある。そういう中で、幸福の物差しをどういう風に考えるか。

安倍政権が今大きな国民の支持を得ています。女性の労働力を活用しようという事も仰って

います。経済の物差しと、幸福の物差しとをどう両立させるかが大事な課題です。OECDの調査によれば、国民の総幸福度GNH21位。嘗ては90位でしたが、ちよつとずつ上がってきました。GNPは日本は世界の冠たる国です。でも幸福度というのは、絆、人間関係の温もりや温かさ、そこに日本の幸福度、世界の幸福度がある訳です。

自民党は政権公約の中に、嘗て大平さんが言った日本型福祉社会の考え方を入れました。30年ぶりの復活だと思っております。最近、自助とか自立とかを主張し始めました。これは子育てで言ったら「しっかり抱いて、そつと降ろして、歩かせろ。」と言ってきた事です。

「しっかり抱いて」が愛着です。「そつと降ろして」が愛着からの分離です。それを私達は母性原理、父性原理と言っていますが、丸ごと受け入れるという優しさによって、心のコップが上を向きます。今、日本の子供達は心のコップが下を向いてしまっている。

自分は大げな人間だと答えた
高校生 66%
自分は価値のある人間だと思う
34%



それ位しか日本の子供達は自己肯定感が無いんです。自国への誇りも失っている。そういう子供達の心のコップをどう上に向けて行くのが大事です。

**日本人の感性が
日本人の脳を育てる**

「雪月花の数学」という本があります。東工大学の数学科卒で桜井進さんという人が書いた本です。その方によれば、「日本の伝統文化の核には数のリズムがある。西洋西欧の美は1対1、6の黄金比になっているが、日本の美は菱川師宣の見返り美人図とか、鉄州の秋冬山水図とか、法隆寺の金堂とか、すべて1対1.4(√2)の白銀比と言われています。そのリズムというものが、日本人の脳を育てているんです。

昨年、石原都知事(当時)に教育再生東京円卓会議に招かれました。石原都知事は岡潔氏と対談した事があって、岡潔先生はノーベル賞学者にしか解けない数学の問題が突然解けたと言っています。それは、芭蕉の「閑さや岩に染み入る蝉の声」の句を詠んだ山形の山寺へ行って、同じ事を体験したと言われ、その体験をして日本人の感性が甦え

り、その瞬間に数学の問題が解けたと言っています。非常に不思議な話です。

日本の心を取り戻すためには、「きれいな星たねえ」「きれいな花だねえ」「そんな事したら恥かしいよ」「もったいないよ」、そういう言葉掛け、働きかけが必要なんです。その大人の働き掛けがあつて始めて日本人の脳が育ち、日本人が育つて行くんです。日本人のDNAがどんなに内在していても、働き掛けがなければ育っていかないものなのです。

**教育再生」によって
日本を取り戻す」**



ですから、そういう忘れていくものを復活させるため、私は今、親学推進議員連盟を作つて、会長は安倍総理、事務局長は下村博文文科大臣です。ただ、総理、文科大臣になられたので、役員は交代しなければなりません、今全国で議員連盟を作っています。

何をしようとしているかと言うと、「親が親として育つ事を支援する」。経済負担を軽減するだ

けの子育て支援策ではなくて、親が親として成長し発達する事を支援する、親育ち支援です。法律や条例を作るのは、トップダウンで世の中を変えていく為です。しかし、トップダウンで法律を変え、条例を変えてもボトムアップが、地道なネットワーク化された国民運動が根付かなければ、日本の再生はできません。

そのトップダウンの法改正、条例改正と、ボトムアップの意識改革、私はこれを「主体変容」と言っています。まず自分が変わる、自分の意識や見方が変わる、その責任を誰かに転嫁しないで自分が変わる。そこから世界に向けて主体変容の教育改革を進めて行きたい。

ありがとうございます。

「誕生」

にしだひとみさん

予定よりもうんと早くこの世界にやってきたたからもの

小さな体
小さな声



生まれたてのあの子は
しっかりと目を開き
わたしのほうへと手をのびした

ああ

これまでに

これほどに大切なものが
わたしにあっただろうか

嵐のように押し寄せて去っていった

強烈な痛みのもと

ひとり

横になり

いつまでもいつまでも
泣きました

始まったのだ

新しい人生が

「いのちへ」より

一泊研修会 体験談

地方での反日運動の危険性

中河信子支部長

いくつか活動している事を話します。

①鎌田先生が何年前前に「子宮頸癌ワクチンの危険性」を書いておられて、いろいろ勉強させて

もらったので、県議会議員へ中止の要請にきました。「あう言う体に良くないものを注射するのはやめて欲しい。県でこれへの助成金を出すと決まったようだが、絶対にやめて欲しい。」と言いにいったが、議員は相手にしてくれなかった。厚生省が認め、医師が認めて進んでいるという状況で、話しにならなかった。

②村田春樹さんから「自治基本条例の危険性」について勉強させてもらいました。その中で、「NPO」の名を語って反日活動を緻密にやっている実態も聞きました。徳島市でも鳴門市でも自治基本条例が制定されてしまった。外国人に諸々の権利を与えるという条文が入った。条例がある限りはあちらさんは絶対にだまっていず、近い将来、その権利を主張してくると思います。市議へ話に行っても「大丈夫、大丈夫、私

がいる間は絶対に悪い方向には活躍させない」と言っています。が、今後大きな問題が出て来ないかと心配しています。

③NPOの地方での反日活動について、起っている問題を話します。

私の出身地は一郡一村の小さな

な田舎ですが、NPOを語って村人に「いい」話しを持ってきます。今、特に水資源や、森林を狙って入ってきている。徳島県の中で4ヶ所の町村を狙われている。その地域には国有林が無いので、個人の山を買おうという動きをしている。

村会議員には、「村の人々に外部から来た人に左右されるのではなく、村民がキチンと話し合っていないと危険が近づいて来る事になる」と話しました。市町村議員は「NPOは悪い団体ではなく、良い団体ではないか」と騙されて思ってしまった。

村田先生たちの幹部の人に聞いたのですが、「NPOの中で研修をしてプロ集団を作って、その人達が全国に散って行って緻密な反日活動をしている」という事でした。その人達はボランティアで行っていると言いがら、実際は国や自治体や助成機関からの助成金をもらって活動しているのです。

村に入ってきて来て、調査活動とか言って、個人の家を回って「山を売りませんか」とかいろいろ情報を取っている。村の各種組織（老人会とか）の代表を集めて、一件一件根回ししている。

一つの例では、老人の救急車が

無いのについて「どこのタクシィーが良い」と、外から来た人が提案していた。まずは村内のタクシィー業者を考えるべき所を、外部のタクシィー業者を指名させようと、あらかじめ「病気になる時、病院へはどうやって行きますか」とのアンケートを取ろうとしていた。そのアンケートはある外部のタクシィー業者にする様に誘導するものでした。

この件は「このアンケートは納得できない。」と問題視して、アンケートを配る前で止めました。

とにかく、NPOが全部悪いとは言わないが、「NPO」と名乗って近づいてくる団体に、まず反日勢力かと疑って掛からなければなりません。

徳島の仙谷元官房長官は前回落ちてもう立候補しないと宣言しているが、「最後に残るのは日本の国やなア」（左翼組織での考えか？）と言いました。反日活動が活発に動いているので、気を付けて行かなければなりません。



一泊研修会 体験談
皇居清掃奉仕を続けて

井上俊一 支部長

私は皇居清掃奉仕をずっとや
つていて、今年（昨年）で9回
目になります。75才が定年で
す。

私の団は結団式をやつて、朝
礼、夕拝、終礼をキチンとやっ
ていますが、観光も目的として
来ている団もあります。

やはり、奉仕に来るなら「天
皇皇后両陛下・歴代の天皇陛下
への思い」のような、日本人と
しての根底的なものを知った上
で来られるのが良いのですが、
いきなり来られて奉仕というの
は、民度というか氣質が落ちて
しまう人のいる団もある。やは
り参加する人の質を上げていか
なければと思います。それでも
最初より二回目、二回目より三
回目とだんだん団員の質が上が
っているのが分ります。

今年は奉仕の終わる時刻にア
メリカの新駐日大使キャロライ
ン・ケネディさんが馬車で帰ら
れる所に遭遇しました。大変記
念の思い出になるものでした。
又、今年には天皇陛下が心臓の
手術の時期と重なっていた

め、「ご会釈はない」と伺ってい
ましたが、陛下から皇后陛下に
電話が入つて「ご会釈をして下
さい」とお伝えになりました。
宮内庁は急遽大慌てで「ご会釈を
用意されました。」

天皇陛下、皇后陛下のお仕事
は分刻み、秒刻みで行われる中、
ご会釈が行われます。ご会釈を
受ける団に小千谷（新潟）の団
もいて、細かくご下問がありま
した。「家を潰され、親兄弟は亡
くなりという状況の中でご奉仕
上がるという姿」に深く感動し
ました。滅私奉公の姿に日本人
の真心を見ました。

「ご皇室に感謝し、尊崇し、
支える」本当の日本人の精神を
持つべきなのですが、一般の国
民は占領政策によって教育と徹
底検閲により、それが抹殺され
ていますので、知っている我々
がしっかり立ち直さなければな
らないと思います。

支那や朝鮮がいろいろ日本に
チョツカイを掛けていますが、
陛下の大御心はどこにあるかと
言つたら、そのレベルでないと
分らないと気が付きました。「人
のうえに仁あり」。仁は人と天と
地。善悪を乗り越えた上のレベ
ルの世界に生きておられるのが
天皇陛下だと。私達もこう言っ

生き方に変えて行かなければなら
ないと思います。

藤田東湖の正氣の歌にある「皇
風は六合（りくごう）に洽（あま
ね）く、明德は大陽に伴（ひと）
し。世に汚隆（おりゆう）無くん
ばあらず。正氣、時に光を放つ。」
だが、帝の靈風が世界に普く吹い
ている。そこにご奉仕に上がると
いう事は、そういう帝の大御心を、
如何に我々が身に帯びて生きてい
るかという事が問われます。「我以
外は師なり」と言う言葉のように
心根を正して生きていきたいと思
います。



一泊研修会 体験談

天使のほほえみの運動に触れて

三谷 満 理事

愛媛で昭和35年に生長の家今
治青年会の委員長をやらせてもら
つて、今年で53年になります。
雅春先生の昭和35年優生保護法
改正運動立上げの時から、5回署

名運動をしたが、とうとう日の
目を見ずに終わってしまった。

昭和60年、雅春先生は断腸の
思いで亡くなられたのだと思
います。生政連も立ち消えにな
つてしまい、どうする事もでき
なくなつてしまった。

しかし昨年、鎌田先生から50
年ぶりに電話があつて、「天使の
ほほえみ」で母体保護法改正運
動をしていると聞き、すぐ資料
を送つてもらつて確認し、これ
こそ千載一遇のチャンスだと思
いました。安倍政権ができ、こ
の時に優生保護法改め、母体保
護法を改正しなければと思いま
した。

毎年毎年、何十万、何百万と
いう胎児が殺されて行く。この
先進国で中絶を許されているの
は日本だけです。本当に日本は
人殺し国家なんです。これは仏
教では殺す勿れと言われている
が、それを習いながらそれに反
する事をしていきます。

鎌田先生は雅春先生の御悲願
を、名前は変わっても營々と繋
いで下さっている。これは母体
保護法と名前が変わつても、そ
の改正運動ができると思つと、
嬉しくて嬉しくて、資料を送つ
てもらつて、すぐに仲間に頼ん
で10人の会員を作りました。

これからも營々と作つて行こう
と思います。

私も、昭和35年ころから、
日の丸掲揚の署名運動をやりま
した。情けないものでした。一軒
一軒回つていく内にある商店の
社長がいて、バツサリと背中塩
を投げて撒かれた事があつた。生
まれて初めてだった。本当に情け
なかつた。なぜ、日本人が日本
の丸を掲げる運動をせねばな
らないのかと。

元号法制化の時も一軒一軒回
つて署名をやつていました。県の
段階では通つていても市町村の
請願で動かないから法律になら
なかつた。

しかし元号法制化はせねばなら
ないと思つていた所、生長の家で
日本国実相顕現運動の中にそれ
が入っているのを見て、生長の家
が日本を良くしてくれるのだと
思つて入りました。

母体保護法改正は、今通さない
と永遠に通らない。毎日、毎日、
胎児が殺されていく。身が引き
裂かれる思いがするんです。

やるか、やらないか。決意一つ
です。やらなければいけない。決
然と立つて、この母体保護法改正
を通さなければいけないんです。
本当に、ここへ来て心強く思いま
した。

「魅れ日本の心」(山口先生著) より抜粋 文責 野田滋美

「我が国体の尊厳性」——日本の本質——

潜在能力開発センター主幹 山口文弘 先生

わが国は世界の中において、

特殊な存在であり国柄でありま
す。それは何故か、言うまでも
なく日本の建国は神話に基づく
天皇国家であるからでありま
す。即ち天照大御神の神勅によ
って定められた皇位が、萬世一
系の皇統によって世々代々継承
された天皇国家であります。

皇位は三種の神器の授受によ
って天皇の御位を継承し、然も
神武天皇即位以来一二五代の皇
位が連綿と続いていることは、
世界歴史に比類がない貴い国柄
であります。

天津日嗣とは神意の顕現であ
りまして、キリストの主の祈り
「御心の天に成るが如く、地に
ならしめ給え。」そのままの国家
形体が、天皇国家日本として既
に実現している、これは実に驚
くべき事であります。

古代から日本民族は、我が国
は神国であると言って日本を讃
えて来ました。その所以は一つ
にここにあります。まさに神智
の然らしむるところであると言
わなければなりません。



故意に祖国を批判し、天皇を
否定する人は、過去の歴史の記
録から、天皇の歴史を傷つける
結論を引き出す。

天皇を愛し、祖国を愛する人
は、過去の歴史の記録から天皇
の歴史の栄光を飾るものを引き
出して語るのであります。

二千六百年以上の建国の歴史
の展開に於いて、途中一進一退が
あり、良きこと、悪きことが起
こったことは否定できません。そ
れは現象世界の常であり、歴史の
常道であります。しかし、天皇の
存在しなかった時代はありませ
ん。織田信長も豊臣秀吉も、徳川
家康も天下をとることができて
も、天皇を廢することをしなかつ
た。それは何故か……。

大東亜戦争の敗戦によって、戦
勝国の占領下に置かれたときも、
連合国最高司令官マッカーサー
元帥と雖も天皇を処罰し、廢位す
ることが出来なかった。それは何
故か……。

この驚くべき歴史的事実と世
界史上類例が無い天皇位の奇蹟
を、日本人は素直に受け止め、こ
の不可思議な事実と真因が何処
にあるかを深く考えてみなければ
なりません。

天皇陛下の御位は、天壤無窮の
神勅に示されているように天津

日嗣ぎであり、天意・天授なる
人智を超えた御存在です。現代
の日本人の多くが神話を夢物語
であり、作り話・空想の昔話と
思っただけで軽んじておりますが甚だ
誤りであります。

前にも述べましたように、古
事記神話は宇宙創造の原理であ
り、宇宙の生命法則であります。
更には現象宇宙の万有創造の法
則を語り、日本建国の理想と憧
憬と輪郭が描かれているのであ
りまして、世界に誇る最高の神
話であることを理解しなければ
なりません。

この古事記神話が具体化して
日本の建国となり、天皇が中心
にまします天皇国日本が存立し
ているのであります。これは、
世界に比類のない日本の個性で
あり特色であります。

日本国と天皇と国民は不可分
一体であります。現憲法は主権
在民と規定しておりますが、そ
れは明らかに誤りであります。

日本の本質を歪めているから一
日も早く改正しなければならま
せん。日本の主権は天皇にある。
これが日本の不変不動の真理で
あります。長い歴史の中には紆
余曲折があつても、必ず天皇な
る中心に回帰したのが日本民族
であります。

「ありがとうの音色を響かせて」
高橋こずえさん
(高橋史朗先生奥様)



「小さな紙袋」

戸棚の中に見つけた
小さな紙袋

包み紙を利用して母が作った
小さな紙袋を手にする
涙が込み上げてきた

使える物は最後まで生かす
母の年代の人の心が伝わって
くる

この紙袋は
そつと大切に取っておこう
いつか母がいなくなつたとき
この袋を手にする
何が大切なのか
伝わってくるだろう

でも そのときは
母の姿を再び眼にすることが
できないのだから
今よりもつと

切ない涙が込み上げてきそうだ
◇

日本を想う徒然のエッセイ

今啓パール 今井啓介社長

■男系百二十五代の中に八方十代の女性天皇の存在あり。第二十三代推古天皇、第三十五代皇極天皇、第三十七代齋明天皇(皇極天皇重祚)、第四十一代持統天皇、第四十三代元明天皇、第四十四代元正天皇、第四十六代孝謙天皇、第四十八代稱徳天皇(孝謙天皇重祚)、第九十九代明正天皇、第一百十七代後櫻町天皇である。しかし、いずれの女性天皇も男系の女性天皇で次の男系天皇の中継ぎとしての即位であり、皇統の危機回避の一時しのぎであった。

■「戦争に負けた日本を見て本当の良さを知り、日本を改めて見直しました。」昭和天皇時代、敗戦の様子をドイツのボン大学教授オワトー・カロン博士が書いています。

今上天皇も東日本大震災の困難には、天皇陛下自ら起き上がりこぼしの重心になられ、停電に合わせて皇居御所の電気を切っておられ、停電でない日も予定通り続けておられ、「寒いのは服を着れば大丈夫」と、暖房も使われないで通された。

■日本が世界で信じられるのは、一、有言実行、二、伝統と進歩、三、世界にその名を残した人々が存在する事実。

台湾での八田與一。日本人の精神は公に奉じる心。給水路一萬キロ、排水路六千キロ、防水平堤防二百キロ、この距離を総合すると万里の長城より長い。この嘉南大水路を完成した時三十四歳でした。

義を重んじ誠をもって実践する日本人の精神は、口先だけではなく実際に真心をもって行う所にこそあり。

— 李登輝さん

■戦後七十年経った。今だに日本が悪い国だったとする教科書で子供は学ばせられています。教科書検定官は「日本は悪い」の考えの主ばかり。マスコミも同様。近隣諸国条項といつて日本の教育を大きく損なわせたのは宮沢喜一官房長官の頃からである。

戦後七十年。今がチャンスだ。

■歴史教科書による日本国民に自信を無くする教育で私は育てられた。沖縄戦に於いて集団自決、従軍慰安婦は存在しない。軍の命令や強制は一切ない。◇

活動報告

- ・11/23・24 代々木一泊研修会を開催しました。
- ・母体保護法改正への行動につき一泊研修会にて検討しました。
- ・有識者への投書活動も実施中。
- ・地元へのチラシ配りをほぼ毎日ポスティング実施中。

皆様へ活動協力をお願い
チラシのポスティングを全国の会員さんが実施して戴ければ、とてもうれしく思います。印刷は、公民館・図書館等の公的な所の印刷器(オフセット)が利用できたり、さらに紙を持参すると非常に安くできます。

会員による「和歌」の紹介

「新春初詠」 今岡祐一理事

- ・大行幸龍顔押す植樹祭 天にとどろく萬歳の聲
- ・めでたきや遷宮かさぬ伊勢出雲 大和島根の基礎いや固し
- ・今年こそ御稜威きらめき聞こし食せ 益人われら集い譲らむ

「第六十二回 伊勢神宮式年遷宮」 岩田 幸枝

- ・日の本の歴史つむげる御遷宮 匂い立たすも新正殿は
- ・新正殿ひのき萱葺き匂い立ち 千木鯉木の燦と輝く
- ・萱葺きは古びて草はえ枯葉つむ 木々にとけこむ風日祈宮
- ・古ゆまもられてこし心しのぶ 神杉亭々滝原宮
- ・日の本の尊き歴史御遷宮 常若の國采えゆきませ

「畝傍御陵、桃山御陵参拝」 野田滋美

- ・鑿国と称され知らず大君は 畝傍の杜に鎮まりませる
- ・神のごと武を持て八州を平らげて 神光御稜威六合に照る
- ・八紘を一字に成すと大君は 一君万民慈愛で知らざる
- ・桃山に明治の御世を知らされし 大帝鑿国みさぎに坐す
- ・列強の毒牙の恐れ防ぎつつ 体制維新薄氷の中
- ・日清と日露の戦日の本の 興国祈り先頭に立たる

今後の行事予定

・3月下旬or4月上旬
徳島講演会(予定)
(中河信子支部長)

・代々木 総会・記念講演会
日時 5/23(金)
講師 未定
鎌田久子先生

場所 代々木青少年センター
センター棟409研修室

編集後記

新年あけましておめでとございませう。今年の年明けは安倍政権の、地に足が付いた活動に、心穏やかに迎える事が出来ました。

